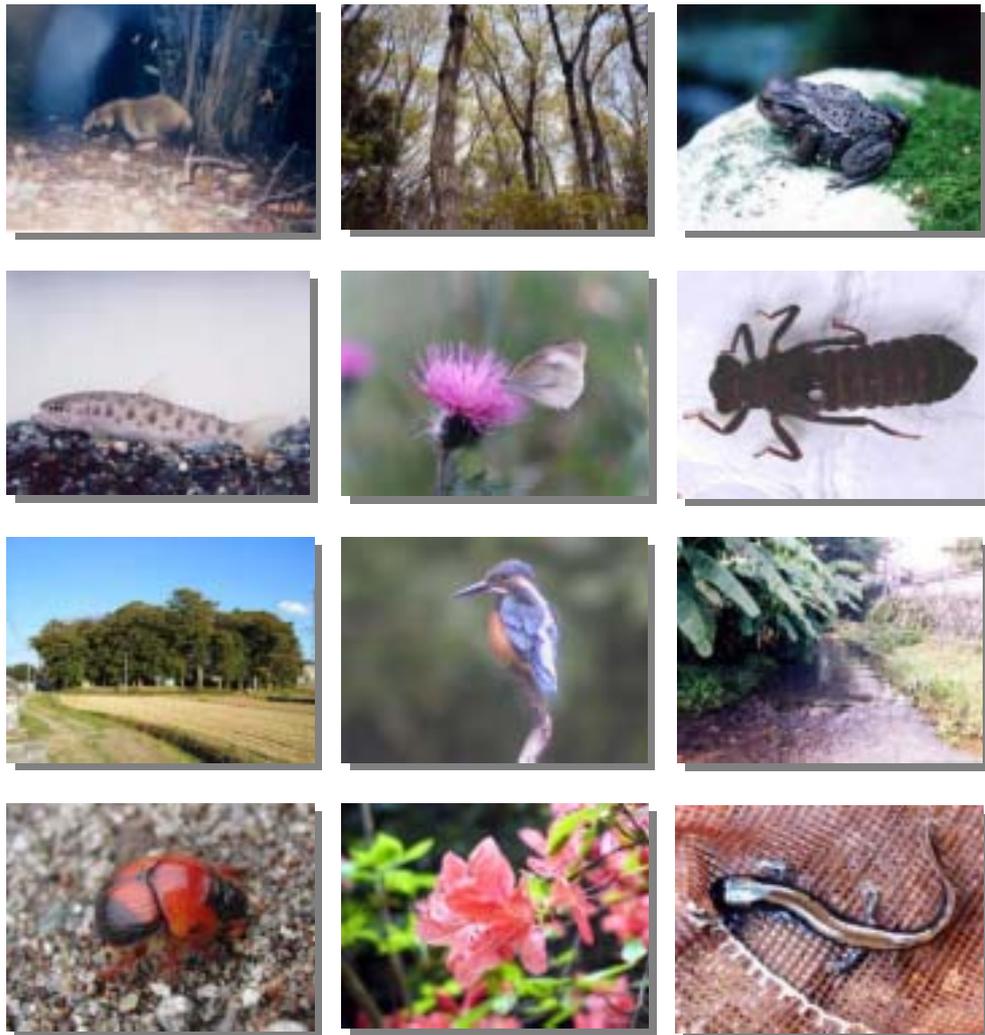


# 三島市自然環境基礎調査 報告書



平成 15 年 3 月

三 島 市

## は じ め に

三島市は、静岡県東部の伊豆半島の玄関口に位置し、天下の険といわれた箱根山を背に、周りを富士箱根伊豆国立公園に囲まれ、温暖な気候と美しい自然に恵まれた大変住みよいまちです。

その歴史は古く、縄文・弥生文化の遺跡も多数発見されており、奈良・平安の時代には国府が置かれていました。

また、水の都といわれ、市街地の中心部から湧出した地下水が集まって清冽な川の流れをつくり、まちに潤いをもたらしています。市の東部、箱根山の西麓は昔から守られてきた山々が原生林として今も森閑たる世界を与えてくれます。

このように雄大な自然に温かく包まれた環境の中で先人達が文化のかおりを醸成してきました。

市の人口は、昭和45年には8万人程度でしたが、平成14年には11万人を超えています。当然、開発されている面積も急激に拡大しており、まさに今、自然環境の将来像が求められています。

自然環境の調査は、当然、過去には何度も行われてきましたが、総合的・有機的連携を持って行われたものではありませんでした。

『三島市自然環境基礎調査』は、生態系の現地調査や自然環境の現況を把握し、多様な豊かな自然環境を保全し、次の世代に豊かな自然を継承していくための手立てを模索するための指針となるよう実施したものです。

私たちの生活環境や社会環境の変化は、生態系に多大な負荷を与え続け、きわめて多くの動植物が姿を消しています。現存する種を守り、希少種などを次の世代に継承していくことは、私たち三島市民の責務といえます。

自然豊かな環境先進都市を達成していくためには、市民一人一人の地道な努力により、まず身近な自然環境を創生することが求められています。

三島市は環境先進都市の推進を施策の重要な柱にしており、市民の協力のもと、この調査結果が今後の自然環境の移り変わりを見つめていく基礎資料となり、環境の保全に少しでも役立つこと願っています。

平成15年3月15日

三島市長 小池 政彦